

「つよさ」を育むために、学校と家庭で大切にしたいこと。

過日行われた懇談会では、「『つよさ』を育むために各家庭でできること」というテーマで話し合っていました。また、学校評議員会においても「つよさ」につながるについて、評議員のみなさんから貴重な意見をいただきました。

これからの学校教育は、学校と家庭と地域が、「こういう子供たちを育てていきたい」「子供たちにこんな力をつけていきたい」という目標を共通理解し、その実現に向けて協力・連携していくことがより重要となります。先日の懇談会、学校評議員会では、その第一歩として、「つよさ」をテーマに、みなさんからご意見を伺わせていただきました。

みなさんのご意見から、学校、家庭、地域が共通理解し、実践していききたいことが少し見えてきました。「つよさ」を発揮するためには、子供たちに「自信をもたせる」こと、子供たちの「自己肯定感を高める」ことが必要だということです。（「自己肯定感」とは、「自分は大切な存在だ」「自分はかけがえない存在だ」と思える心の状態です。）

「自信」と「自己肯定感」、この2つを高めていくため、学校では、子供たちの活動の様子をしっかりと見取り、価値づけていくことを大切にしていきます。各御家庭でも、何ができそうか、改めて考えていただけると、大変嬉しく思います。